

光明寺だより

第88号

浄土真宗本願寺派

光明寺

〒793-0030 西条市大町550

TEL 0897-53-4583

心に残る詩

つづやき 広島市 沖友いずみ (54)

大変だなあと思ったら
大変になる

大したことねえと

思えば

大したことねえ

誰が決める？

誰かが 決める

いいや 自分で決める

大したことねえ

大したことねえ

自分に言い聞かせる

何度も

何度も

言い聞かせる



産経新聞「朝の詩」より

彼岸会法座

3月24日(火)

おつとめ一午後1時30分

おはなし一午後2時

【講師】大阪教区・法栄寺

小林顯英先生

怨みを捨てる

★その一



実にこの世においては、
怨みに報いるに怨みを以てしたならば、
ついに怨みの息むことがない。
怨みを捨ててこそ息む。
これは永遠の真理である

『ダンマバダ』（法句経）第五偈

まことに崇高な理念を説いた言葉です。

この言葉にまつわる私たち日本人にとっ
て忘れてはならない出来事が、今から60年
余り前にありました。

それは1951年（昭和26年）9月のこ
とでした。

第二次世界大戦が終わり、アメリカの占
領下にあった敗戦国日本の戦争責任と懲罰
を議論する『サンフランシスコ対日講和会
議』というものが開かれたのです。

戦勝国の間では、日本を米英中ソの四カ
国で分割占領し、首都の東京は四カ国が共
同占領するというような強硬な案も出され
ました。

そんな戦勝国主導の会議の席上、セイロ
ン（現スリランカ）代表のジャヤワルデネ
ン（現スリランカ）代表のジャヤワルデネ
財務大臣（後にスリランカ第2代大統領）が、
51か国の代表を前に冒頭に紹介したお釈迦
さまの言葉を引用して、自国の日本への賠
償請求権を放棄すると宣言したのです。

（同様の趣旨でインド、ラオス、カンボジア
なども賠償請求権を放棄しました）

さらに「アジアの将来にとって、完全に
独立した自由な日本が必要である」と、日
本の分割論に真っ向から反対したのです。

このスピーチが諸外国代表の心を打ち、
特に厳しい制裁措置を加えようとしていた
ソ連などの反対を押しきり、講話条約が締
結され、日本の国際復帰への道が開かれた
のです。

当時、日本国民はこのスピーチに大いに
励まされ勇気づけられました。

我が国の戦後復興の第一歩が、このよう
な仏教の理念が生かされた出来事から始
まったということに深い感動を覚えます。

今日の私たちの豊かな生活や独立国家と
しての日本の繁栄は、スリランカなどの仏
教徒の尊い行為なくしてはありえなかった
のです。

怨みを捨てる……いざそれが自分の事と
なると、この言葉通りに実行することは至
難の業です。しかも利害と利害がぶつかり

合う国際政治の舞台ともなればなおさらの
ことです。

そのことを思うと、セイロンや他の諸国
の方たちの英断には、ただただ頭が下がる
ばかりです。

本条約締結後、日本が世界で一番早く外
交関係を結んだのはスリランカでした。

なお、ジャヤワルデネ氏の功績をたたえ
た顕彰碑が鎌倉の大仏の境内地に建てられ
ています。顕彰碑の裏面には講和会議の演
説の全文、また表面には次の言葉が刻まれ
ています。

『人はただ愛によってのみ憎しみを越えら
れる。人は憎しみによっては憎しみを越え
られない』

我が国の戦後復興の大恩人であり、また
大の親日家であったジャヤワルデネ氏は
1996年9月、91歳で亡くなりました。

思えば私たち人間社会は損得、勝ち負け
を軸に動いています。そのため、この社会
から憎しみや怨みをなくすことは出来ませ
ん。

一つの怨みが新たな怨みを生み、それが
幾世を経ても尽きない、そんな人間の歴
史を見る時、「怨みを捨てよ」と、はるか
二千五百年の昔に語られたお釈迦さまのこ
の言葉は、まさに永遠の真理だと思えます。

★その2



浄土宗の開祖法然上人、9歳の時のこと
です。

おしりょうし
押領使

(地方の警察官)を勤めていた父

の漆間時国が、日頃より反目していた明石
定明の夜襲にあい無念の死を遂げるのです。

時国は臨終間際に法然上人を呼び寄せ、

「決して仇を討ってはならん。もし、その
ようなことをすれば仇は仇を生み、その怨
みは尽きることがなくなる。お前はそんな
世俗を離れて出家し、全ての人が救われる
道を求めてくれ」

と遺言を残し、息を引き取ります。

法然上人は父の遺言に従い菩提寺に身を
寄せた後、13歳で比叡山にのぼり本格的な
仏門修行に入るので。

非凡な才能は花開き、人々は「智慧第一
の法然房」と称する程になります。

しかし悟りの道は求められず、更なる求
道の日々が続きます。そうして、上人43歳
の時、善導大師の著した『観経疏』の一節、

一心専念弥陀名号

行住坐臥不問時節久近

念念不捨者是名正定之業

順彼佛願故

(意識) 一心に阿弥陀さまの名を称え、いつ
でも何処でも時間の長い短い関係なく常に
これを念頭に置き継続する事が往生への道
である。その理由は弥陀の本願に順ずるか
らである。

という言葉に導かれ、ついに長年の苦悩
の闇が晴れ、すべての人が救われる専修念
仏の教えを確立するのです。そうして同年、
わが国に初めて浄土宗が開かれるのです。

老少善悪を問わない念仏の教えは瞬く間
に広まり、貴族から一般庶民に至るまで多
くの人々の心をとらえていきます。しかし
一方ではそのことを良しとしない既成教団
から厳しい弾圧が続き、上人75歳の時、朝
廷より念仏停止の断が下され、四国へ流罪
になるのです。

この流罪は無実の罪による「法難」と呼
ぶべき事件でした。

しかし、上人は流罪に不満を持つ門弟た
ちに、

「流刑さらに怨みとするべからず。流罪に
よって念仏を辺鄙な地方に化導できるとは、
またとない結構なことである。これまさに
朝廷のご恩とうけとるべきではないか。」

と言われたといひます。

上人は父親の非業の死を通して、怨みを

持つことの愚かさや危うさを身をもって体
験しておられたからこそ、「怨んではなら
ん」と言われたのです。

怨みは新たな怨みを生むだけで決して問
題を根本から解決することはありません。

しかも、上人は流罪という人生最大の逆
境を、お念仏を喜ぶかけがえのないご縁に
していかれたのです。まことに念仏者とし
ての智慧が光ります。

その後、流刑は10か月で赦免となり、上
人は京都に帰られますが、ご高齡と所労が
重なり、建暦2年(1212年)1月25日、
多くの門弟たちに見守られながら80年のこ
生涯を閉じられました。

思えば、「怨みを捨てよ」という父の遺
言が、「万人を救う教え」を生み出し、そ
の教えが八百年を経た今日なお、私たち人
間の生きる拠り所となっているのです。

この事実こそ、お釈迦さまの言葉の真実
性を証するに足るものがあるうと思いま
す。



別離の年の出来事2015年(平成27年)
年忌表

お法事は亡き人を偲び、日頃忘れかけているいのちのつながりの深さに思いをいたし、この私が仏縁に遭わせて頂くための大切な仏事です。親しい人を亡くした年、どんな出来事があったでしょうか、改めて振り返ってみましょう。亡くなってから1年目の法事は1周年忌、2年目は3回忌、6年目は7回忌12年目は13回忌となっていきます。

1 周年忌 「エボラ出血熱」 2月ソチ五輪。羽生結弦男子初の金メダル 4月消費税5%から8%へ。 8月エボラ出血熱発生。 9月全米テニスで錦織選手準V。 10月赤崎勇・天野浩・中村修二の三氏がノーベル物理学賞受賞。
平成26年
(2014)

3 回忌 「富士山世界遺産登録」 1月大阪桜ノ宮高校で体罰自殺事件起きる。5月長嶋茂雄、松井秀喜両氏、国民栄誉賞授与。 6月富士山が世界文化遺産に登録される。 9月2020年夏季オリンピックの開催地が東京に決定。
平成25年
(2013)

7 回忌 「民主党政権誕生」 1月オバマ氏が第44代アメリカ合衆国大統領に就任。5月前韓国大統領盧武鉉氏自殺。 8月第45回衆議院議員総選挙で民主党が絶対安定多数を上回る議席を確保し第1党に躍進。
平成21年
(2009)

13 回忌 「ロス疑惑無罪確定」 3月ロス疑惑の三浦和義の無罪確定。 4月全国の自治体平成の大合併。新型肺炎 SARS 発生。 8月火星、地球と6万年ぶりに大接近。 12月フセイン元イラク大統領拘束。
平成15年
(2003)

17 回忌 「光市母子殺害事件発生」 1月欧州に新通貨「ユーロ」誕生。4月光市母子殺害事件発生。石原慎太郎氏が東京都知事に。10月桶川ストーカー殺人事件発生。上尾署の捜査調書の改ざん判明。
平成11年
(1999)

25 回忌 「湾岸戦争」 1月イラク軍のクエート侵攻により湾岸戦争勃発。6月雲仙普賢岳で火砕流発生、死者41名。信楽高原鉄道で列車事故、42名死亡。若貴ブーム、千代の富士引退。11月宮沢内閣発足。
平成3年
(1991)

33 回忌 「比例区選挙始まる」 4月東京ディズニーランド開園。8月フィリピンのアキノ元上院議員が暗殺。9月ソ連が大韓航空機を撃墜。10月ロッキード事件で田中角栄元首相に実刑判決。
昭和58年
(1983)

50 回忌 「ビートルズ来日」 2月全日空機東京湾に墜落、死者133名。5月中国で文化大革命スタート。7月アメリカが北ベトナム爆撃を拡大。12月ウォルトディズニー死去。
昭和41年
(1966)

新春法座つとまる！



さる1月9日(金)午後4時から、藤田徹文先生をお招きして恒例の「新春法座」を開催いたしました。厳しい寒さの中30名の参拝者がありました。

【講演主旨】

お釈迦さまのご説法は、病に応じて薬を与える(「応病与薬」)お医者さまのようであることから「大医王」と呼ばれています。

治療には「同治」と「対治」がありますが、お釈迦さまのご説法は、例えば悲しんでいる者に対して「辛いだろうね」と共に悲しんでいくという同治です。対治は「もっと元気を出しなさい」と励ましてその悲しみを和らげていくものです。

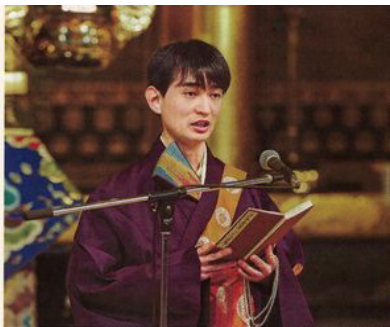
お念仏の教えはもちろん「同治」ですが、親鸞聖人は特に「聞治」ということを仰っています。「聞治」とは聞くことによって治していくということです。お念仏の教えを聞かせていただくと、愚かなわが身に気づかされます。それはまた、「だからこそ救わずにはおれない」という阿弥陀さまのお心に出遭うということでもあります。そこに「お恥ずかしい」という慚愧の心と、「かたじけないことです」という歓喜の思いが生まれてきます。そうして慚愧と歓喜の織りなす人生が実現する時、自己を「傷む」だけでなく自己が「治され」ていく人生が開かれるのです。聞治によって「人間成就=如来と等しき人」とならせていただくのです。

「聞治」こそ「邪見驕慢悪衆生」と呼ばれる私たちを治す最善の治療方法です。

「伝灯奉告法要」平成28、29年に厳修



専如ご門主「ご消息」をご発布



昨年6月、本願寺第25代門主に就任されました専如ご門主が、さる1月16日、本山の「御正忌報恩講(親鸞聖人のご命日にそのご恩徳を報謝する法要)」ご満座のあと、御影堂で「伝灯奉告法要についてのご消息」を発布されました。

伝灯奉告法要は、ご門主が法灯を継承されたことを仏祖の御前に奉告するとともに、お念仏のみ教えが広く伝わることを期するもので、平成28、29年に修行されることになりました。

西条組からもこの法要に合わせた団体参拝が計画されると思います。

(注) ご消息—ご門主が門信徒に向けて教義弘通のため特定事項についてその意思を述べるために発布するもの。ご門主からのメッセージです。

趣味の広場



俳句を楽しむ(六十七)

森本隆を

農耕民族である日本人は、古来、長く寒い冬に耐えじつと春を待つ習性があり、まさに丁度今頃、この三月を待ち続ける生活をくり返してきました。一斉に田畑に出て農事が本格的に始まる季節が、春三月なのですね。生活面では、三月と言えばまず五節句のうち、「上巳の節句」即ち桃の節句、雛祭りか思い浮かびます。雛人形を飾り邪鬼を祓い、子供の成長を祝う日ですね。

父やさしく母きびしくて雛祭 右城 暮石
 雛祭葉缶も笛の音色して 成田 千空
 よく泣いてゐる赤ん坊の雛祭 細川 加賀
 結婚は夢の続きやひな祭り 夏目 雅子
 幼い女の子を囲んでの雛祭の雰囲気、春の夜のためたさや季節感豊かな良い句が多くあります。四句めは亡くなった女優の夏目雅子さんの遺句ですが、若い女性らしい感情を素直に詠んだ句です。さて、その雛人形を飾るといふ風習についてですが、私なりな感想を言えば、「最近雛飾りをしている家がとても少ない」のではないかと思うのです。娘さんが嫁ぎ、親は親で齢を重ねるのが人間なので仕方ないことで

しょうが、自分の為に雛人形を取り出して飾る、というのはいかがですか。ぜひおすすめします。

誰がためとなく飾り置く雛かな 稲畑汀子
 飾る気の失せて久しき雛飾る 山川せつ子
 我が為に飾る雛となりけり 赤須たか子
 年齢に関りなく自分の為に雛を飾り、春の到来を一夜感じれば人生が豊かに感じられるかもしれません。

さて、三月は涅槃会の月でもあります。お釈迦様の入滅されたとされる三月一五日に行われる法会です。寝釈迦を中心に描かれた涅槃図を掛けてお釈迦様の遺徳奉讃追慕のための法会ですね。光明寺さんでも、三月一五日には涅槃会の行事があります。日頃お寺に疎遠な門徒の皆さんもこういう節目の行事の日にお寺に参拝することをおすすめしたいものです。

暮れ時の草まつさを涅槃の日 鷺早葉子
 春眠の如くに涅槃したまえる 行方克己
 涅槃図に束の間ありし夕日かな 安住 敦
 第三句めは以前にもご紹介したことのある句ですが、この三句はどれも涅槃の日に感じ取った季節感を大切に詠んだ点で愛好者の多い句です。春を感じさせる草の緑色、春眠、そして、少し日が暮れるのが遅くなった感じなど、何となく心の明るさを感じさせる句です。

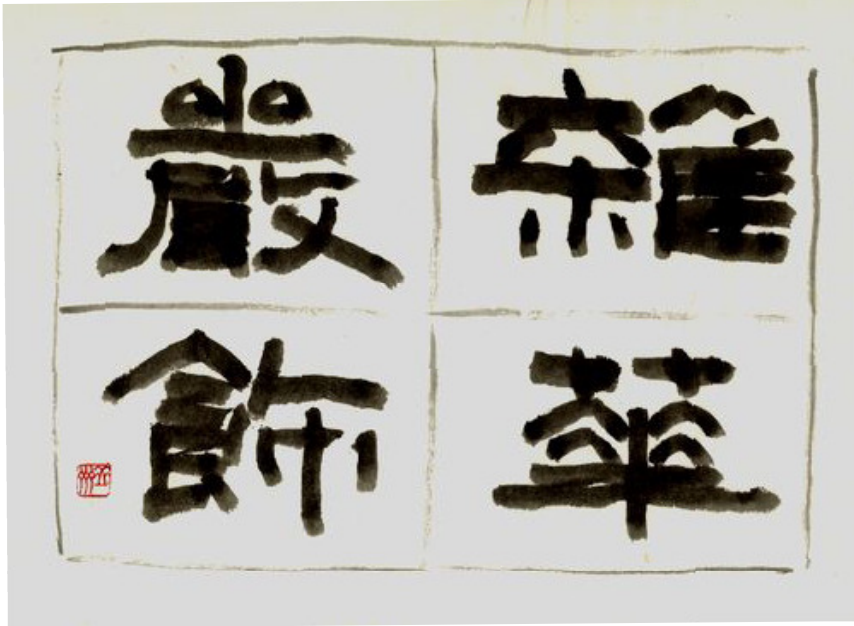
御素足の幼なかりける寝釈迦かな鈴木貞雄
 涅槃図の繕はれある寝釈迦かな米澤富貴子

涅槃図の前をこの世の猫通る 松本澄江
 涅槃図や身を皺にして象泣ける 橋本栄治
 奥の間に赤児の声す涅槃寺 山本松枝
 お涅槃にお寺へお参りし法会の座に参列しての五句です。人によって、目の前に掛けられた涅槃図も様々に受け止め方や見方が違うことがよくわかる、個性的な五句です。第五句めなどはまるで今年の光明寺さんでもこういうふうかな、と思えるほほえましい句です。

最後に、三月の話ついでの話ですが、光明寺では三月二十四日には「彼岸会法座」が行われます。講師の先生を招いての本格的な法話があります。こういう機会に、是非とも多くの門徒さんにご聴聞されることをおすすめします



位職書作品



字句—雑華嚴飾

意味—さまざまな色や形の花(雑華)が、この世界を美しく飾っている(嚴飾)。

この世に不要なものは何一つないということ。

BOOK 本

『いのち 信心』



出版社 探究社
著者 藤田徹文
定価 1200円+税

本書はNHK教育テレビ「こころの時代」、同第二放送「宗教の時間」でお話されたものを文章化したものです。

第1章「いのちとの出遭い」、第2章「信心について」に構成されています。

この世界はあらゆるものが一つ如しにつながって(＝縁起)、それが大きなハタラクとなっていて、すべての「いのち」を包んで生かしています。お釈迦様は、「いのち」の存在を実現して下さる「法則」を発見されたのです。その法則(＝法)を人格的に味わう時「法身」といい、浄土真宗では「阿弥陀如来」と名付けていただいていたのです。

法身(＝阿弥陀如来)が私たちに「いのちの在り方に目覚めよ」と呼ぶ声「南無阿弥陀仏」に、疑いが無くなったことを「信」といいます。

「光明寺だより」をご家族の皆さんで
お読みください

次回発行予定…7月下旬



**おねはん
涅槃会**
3月15日(日)

第1回目 9時～10時
第2回目 11時～12時
第3回目 13時～14時



言葉のプレゼント

手にかけても
必ず人は死ぬのになぜ殺す
死んで行く者同士
生かしあうより他ないのに



光明寺のホームページ

西条光明寺

または

南岳山光明寺

検索



『カーサーブルータス』特別編集号

★1月9日(金)午後4時より、ご講師に藤田徹文先生をお招きして、恒例の新春法座が開催されました。30名の参拝者がありました

(*関連記事5ページ)

★安藤先生より『カーサーブルータス』安藤忠雄ザ・ベスト」という書物が送られました。書物と一緒に地域の人々の心のよりどころとなるよくなお寺にして下さい」というメッセージも添えられていました。

(*上図参照)

★1月16日、専如新ご門主が伝灯奉告法要についてのご消息を發布されました。

(*関連記事5ページ)

